

Mランドニュース Vol.169

丹波ささ山校 令和3年5月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

人間が謙虚になるための、手近な、そして着実な道は、まず紙屑を拾うことから。

森 信三先生

あたらしい仲間

弊社、コガワグループ三社合同の「二〇二一年度、コガワグループ入社式」が四月六日(火)、オンライン形式で行われました。

丹波ささ山校から参加したのは、江本崇人(たかねと)インストラクターと、サービスチームの笹倉唯奈(ゆいな)です。

コロナ禍で、グループ会社の社員と対面する機会がなかった二人にとって、緊張はかくせないようでした。



おなじ目的を志す新入社員同士の顔合わせ

司会者の進行により入社式が始まると、これまでにないかたちでの入社式が執り行われました。入社式を終えた二人は、これまでの自分自身の考え方や捉え方に、大きく影響があったようです。



江本インストラクター

人としてどのような行動を起こせばよいのか再認識しました。現状維持のままでは、会社にも自身のためにもならない。一人の人間として、世のため人のために立ち振る舞い、世の中がよくなることを願うとともに、小さなことを積み重ね、自身の糧となるよう努力していきます。



笹倉さん

創業者の想いがこのMランドに詰まっていることを知り、とても感動しました。今ここで私自身が働けていることに誇りを感じます。人のための行動や、プラス思考ができていなかったことに気付かされ、心に届く挨拶と感謝の気持ちをお伝えし、少しでも多くのお客さまが幸せになれるように、努力してまいります。

研修で抱いた熱い志を胸に、大きく貢献してくれることでしょう。

心をそろえる

営業チーム 上出 健二

「脚下照顧」。この言葉を誰もができる教えのひとつとして、長野県円福寺住職 藤本幸邦氏がつくられた、「はきものをそろえる」という有名な詩があります。

「はきものをそろえる」

はきものをそろえようと
心もそろおう
心がそろおうと
はきものもそろおう
ぬぐとぎにそろえておくと
はくときに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまつてそろえて
おいてあげよう
そうすればきつと
世界中の人も
心もそろおうでしょう

Mランドもあらゆる面でこの詩に習い、ホームの上履き、傘立て、椅子など美しく揃えることを意識しています。そのひとつ「社員の車も揃えて停めよう」と、5年前から取り組んできました。

これまで目印として設置していたポールやロープは、時間とともに劣化しはじめ、自動車を揃えにくくなる場所も出てきたため、環境月を利用して新たに整備しました。



「どう、ズレてない?」と、南勝リーダー(左)

誰もが一回で美しく駐車できるよう、寸分違わず杭とロープを設置していきますが、何分素人ですので、杭やロープにズレが生じ、その都度やり直し。

「よし、上手く杭が入った!」と思えば、大きな石に阻まれるなど初夏の陽気の中、悪戦苦闘しました。

終了後、杭とロープの確認。心静かに端からよく見ると、微妙にズレている箇所が。

しばらく二人の沈黙が続いたあと、「やり直し!」と南勝宏幸リーダーの一声。

慣れない作業で疲弊していた私は「これくらいなら...」と思いつつ、言われるがまま作業に戻りました。今になって思えば少しの乱れが、停める人へのズレを生じさせる雰囲気につながりかねないと、自分の甘さを反省しました。



きれいに揃うと我ながら「お~!」と、感激です

【掃除に学ぶ会】のご案内

5月の掃除に学ぶ会は、「緊急事態宣言」のため中止とさせていただきます。

駐車場は、一日が始まる場所です。そんな駐車場から社員全員で心を揃え、ゲストに向き合ってまいります。

ワンハート・ワンワールド

教習チーム 石橋 学

全国的に二輪免許の取得者が増加し、ツーリングを見かけることも多くなりました。Mランドも四月から二輪教習のゲストも増え、コース内を二輪車が颯爽と走り抜けます。



安全運転は基本操作から

二輪車は楽しく、格好良い乗り物であるものの、体が露出しているゆえに、事故を起こせば身体に負傷を負うことも否めません。また、安全に走ることも、速く走ることや、注目される走りに関心が向きがちになり、その結果、本人はもちろん、周囲の人や車に危険を及ぼすケースも少なくありません。

二輪車はこういった乗り物であるため、運転する者の「心」が問われます。

Mランドでは教習開始時に、ゲストと「ワンハート・ワンワールド」を唱和しています。



風をゆり、光と走る。

自然が「なる」。

私は風となり、光となる。

今がけきりてきない瞬間。

私の心が

さまよなな陸を越えて、世界を「つ」にす。

一、私は

バイクを愛します

一、私は

自然を愛します

一、私は

人を愛します

一、私は

地球を愛します

すなわち、二輪車は風を感じ、自然との一体感を生む楽しい乗り物であるから、周囲の人や車、環境と調和できるライダーを目指していた

きたいという、Mランドの願いです。



全員で心を込めて唱和しています

バイクシーズン真っ只中、卒業されたゲストが「ワンハート・ワンワールド」を心に刻み、安全にバイクライフを楽しんでいただくことを願っています。

そつじの力

毎朝十分の会社磨き。「そつじの力」を始めてから八年を迎え、地道にコツコツと取り組んでいます。

四月は五つの班のリーダー研修で、それぞれの班の活動状況や成果を共有し、違う目線での指摘や、問題点を話し合い、解決策などの討議を行いました。

忘れてはならないのは、私たちが何のためにこの取り組みを始めたのかを明確にすること。「これからも切磋琢磨、各リーダーが率先して、取り

組んでいこう」と、想いを新たにしました。



他の班の取り組みに興味津々

杜のコースに

私たちの目を和ませてくれた桜の花は、風とともに散りゆき、入れ替わるように鮮やかな緑の葉が芽吹いています。時同じく弊社教習コースにも落葉樹に新芽や、季節の花が咲き誇っています。今、一段と目を引く色鮮やかな花がつつじです。

この花は、平成十七年五月に益田校の姉妹校となった翌年五月に、故小河二郎前会長が、益田校から移植されたもので、私たちに忘れてはならない大切な花です。

当時、前小河会長は「杜の中の教習所を創ろう」と、ポプラ、ナンキンハゼ、ハナミズキなどを植樹され、十五年経っ

た今、大きく成長してきました。

樹木をこよなく愛された前会長は「杜に囲まれた教習所であるべき」と、折に触れてお話されていました。

五月二十七日で、Mランドになって十六年。これからも創業者の目指す「自動車教習所」に近づきたいと思えます。



花の命のエネルギーを感じます

お便り

七十歳以上で運転免許を更新する際に受講しなればならない「高齢者講習」。

平日の午前・午後には多くの受講者がお越しになります。受講後、お一人の女性の方から嬉しいおはがきをいただきましたのでご紹介いたします。

「篠山自動車教習所の皆様」先日、高齢者の運転免許更新でお世話になりました。(徹)

コロナ感染症が拡大している中で、ご自分のリスクを背負いながら指導していただきありがとうございます。

一人一人細かい気配りと励ましの誉め言葉をかけてくださり安心して講習を受け、コースの運転をすることが出来ました。

Mランド「こころの教習所」という意味が込められているのですが、それを実践する努力をしておられると感じました。教えていただいたように他の人を優先し安全運転を心がけていきたいと思えます。

編集後記

四月のある日、とある保育園の前を通りかかったとき、無邪気な笑い声と、園庭いっぱい走りまわる園児たちを見かけました。コロナ前は当たり前風景でしたが、なぜか嬉しさがこみ上がり、子どもたちの健やかな成長を願わずにおれませんでした。(徹)

